

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	◆D-4-1-3
事業名	鏡石町災害公営住宅駐車場整備事業
事業費	総額 2,588 千円（国費：2,070 千円） （内訳：工事費 2,588 千円）
事業期間	平成 26 年度
事業目的・事業地区	<p>東日本大震災により応急仮設住宅や借上げ住宅で生活している被災者向けの恒久住宅として、災害公営住宅 24 戸（共同住宅）の整備を進めていた。</p> <p>当時の仮設住宅の入居者の利用状況を見ると全世帯が車を利用しており、1 人 1 台利用している世帯もあった。そのようなことから、日常生活において車は欠かせないことから駐車場の整備を行った。</p> <p>東町地区（東町団地）</p>
事業結果	<p>災害公営住宅建設と一体的に入居者用の駐車場を整備することにより、効率的に工事を進めることができた。入居者においても同時に完成することにより利便性が向上した。</p>
事業の実績に関する評価	<p>駐車場整備台数については、町単独アンケートにより災害公営住宅入居希望者 24 世帯から、複数入居希望者 12 世帯の保有台数を 2 台とし、単身入居希望者 12 世帯の保有台数を 1 台とし合計 36 台とした。</p> <p>（複数入居希望者 12 世帯 × 2 台） + （単身入居希望者 12 世帯 × 1 台） = 36 台</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>敷地内に駐車場を整備することで、被災者が速やかに仮設住宅等から災害公営住宅に入居することができた。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>敷地外に駐車場を整備する場合、新たに用地費を必要とするなど、新たなコストが発生するが、敷地内に駐車場を整備したことによって新たなコストの発生を抑制した。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <p>近隣に民間有料駐車場は無く、災害公営住宅と一体的に駐車場を整備することで、被災者を効果的に支援することができた。</p>
事業担当部局	都市建設課 電話番号：0248-62-2116

鏡石町災害公営住宅 位置図

D-4-1
鏡石町災害公営住宅整備事業
D-4-1-3
鏡石町災害公営住宅駐車場整備事業

施工箇所：鏡石町東町地内



工事施工前



平成 26 年 3 月 17 日	測点	全景 南面
工事概要 着工前		



平成 26 年 3 月 17 日	測点	全景 西面
工事概要 着工前		

竣工写真



平成 27 年 3 月 16 日	測点	全景 南面
工事概要		竣工



平成 27 年 3 月 16 日	測点	全景 西面
工事概要		竣工

工事施工前



平成 26 年 3 月 17 日	測点	全景	東面
工事概要			
着工前			



平成 26 年 3 月 17 日	測点	全景	北面
工事概要			
着工前			

竣工写真



平成 27 年 3 月 16 日	測点	全景 東面
工事概要		竣工



平成 27 年 3 月 16 日	測点	全景 北面
工事概要		竣工